

納品期限緩和研修会実施結果

資料1(4)

- タイトル

食品ロス削減に向けた小売業の取組

セブン&アイとバローの食品ロス削減事例を学び、これからの方策を考える

- 対象

- 食品を扱う小売業限定

- 日時

- 令和3年11月19日、25日

- 場所

- 東京駅最寄会議室（フクラシア東京、19日）
- Web

- 内容

- 食品ロス削減に関わる政府方針・最近のトピックス 農林水産省

1

- 内容

- 食品ロス削減に関わる政府方針・最近のトピックス 農林水産省
- 食品ロス削減に関する調査結果報告 公益財団法人流通経済研究所
- 小売業の取組紹介
 - 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
 - グループ商品戦略本部 セブンプレミアム開発戦略部 荻原 素宏氏
 - 株式会社バローホールディングス
 - 流通技術本部 物流部 部長 上口 隆一氏
- 意見交換・質疑応答

- 参加人数

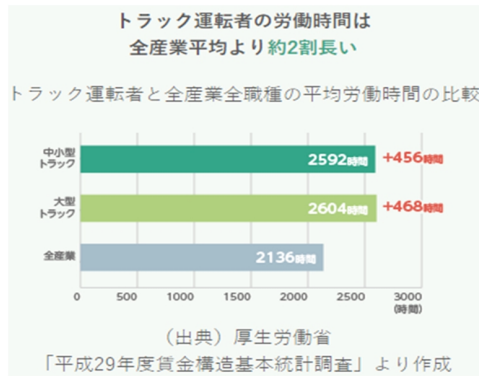
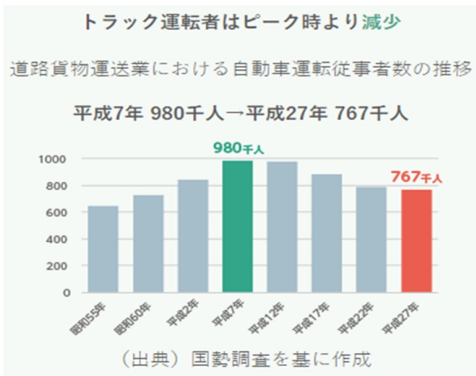
- 2日間計61名

- 評価

- 参加者のアウトレット販売、リードタイム延長、納品期限緩和への関心が高かった。
- 納品期限緩和は、地域の他の小売業とも一緒に検討してもらうことも有効なので、さらにエリアでまとまって一本釣りするような開催も要検討。

2

ホワイト物流と食品ロス削減の相関



運送業の年間残業時間
960時間
2024年
4月1日より

ホワイト物流 = 持続可能な商品供給を実現させる環境づくり

商品が安定的に供給されない時のシナリオ

- 今までの様に食品を運べない(物流危機)
- ムリな需要予測・欠品対策
- 食品ロスの増大・・・

ホワイト物流推進運動

食品ロス削減

物流環境を考慮し、無理のない商品供給体制へ

ホワイト物流の宣言項目

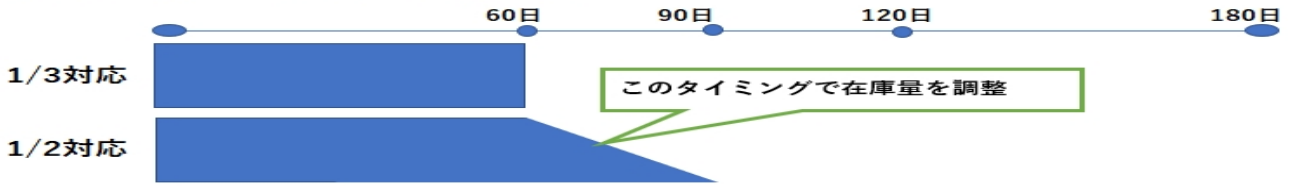
他社と比較しても圧倒的に多い宣言 > 17項目 + 1追加

• 物流の改善提案と協力	57件	• 集荷先や配送先の集約	8件
• パレット等の活用	32件	• 出荷に合わせた生産・荷造り等	7件
• 荷役作業時の安全対策	31件	• 幹線輸送と集荷配送部分の分離	6件
• 異常気象時等の運行中止・中断	30件	• 荷主側の施設面の改善	4件
• 配送契約の書面化推	30件	• 混雑時を避けた配送	4件
• 高速道路の利用	20件	• 予約受付システムの導入	4件
• 契約相手先の法令順守状況の考慮	19件	• 農産物プラットフォーム	
• 運賃と料金の別建て契約	10件	• リードタイムの延長	4件
• 発注量の平準化	9件	• 「1/3ルール」の見直しと返品改善	

ホワイト物流による食品ロス削減

納品期限緩和 1/3 1/2に緩和

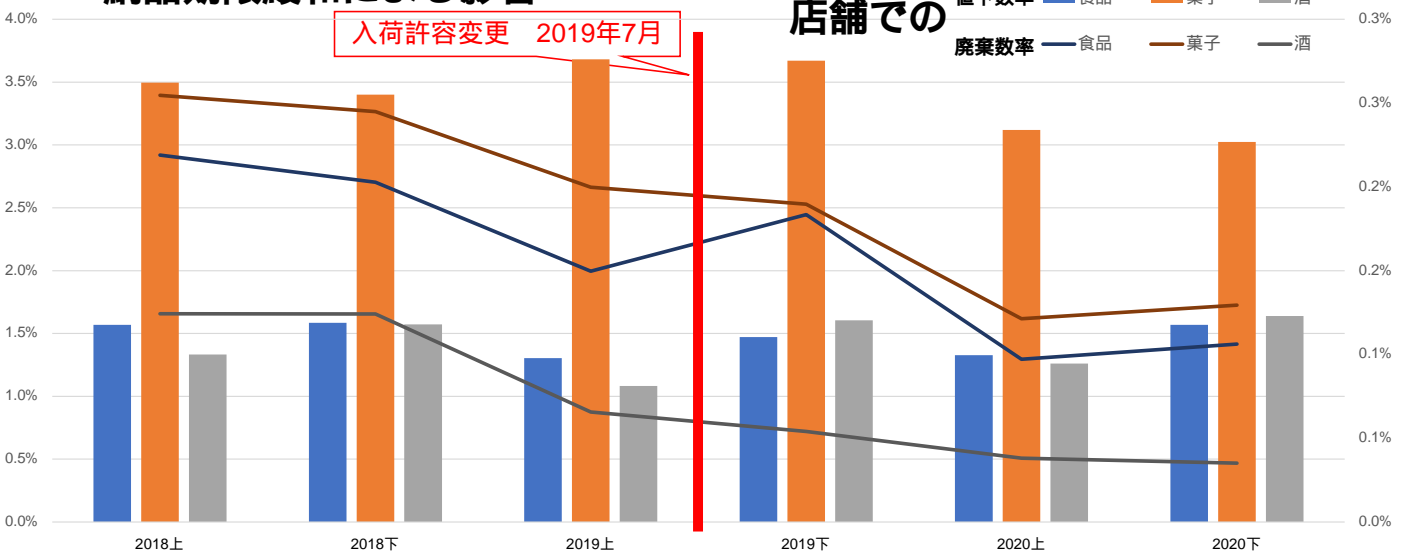
対象カテゴリー → 食品（加工食品・ラーメン・飲料）、菓子、酒
 運用対象基準 → 賞味期限180日以上



	導入前（説明時）	導入後
営業部・店舗	店舗に古い商品が納品されないか？ ロスが増加しないか？	ロスは変化しない（他取り組み含めてロスは減る） 賞味期限が短い商品は対象外なので影響はない。
商品部	社会的な要求として受入れしなければならないが… 荒利高(率)に影響が出ないか？	荒利高(率)は影響しない。
取引先	助かる。 在庫が増えないか心配	在庫は増えていない。 預かり在庫(DC)は鮮度返品が大幅減（0.5%→0.11%） TCは他社が足並みを揃えないとメリットが無い
中部興産	返品業務が減るのは助かる。 在庫が増えないか心配	鮮度返品業務が減ったのは助かる。 在庫も増えていない。 (返品業務がゼロにならないと大幅なコスト削減にならず) 5

ホワイト物流による食品ロス削減

納品期限緩和による影響

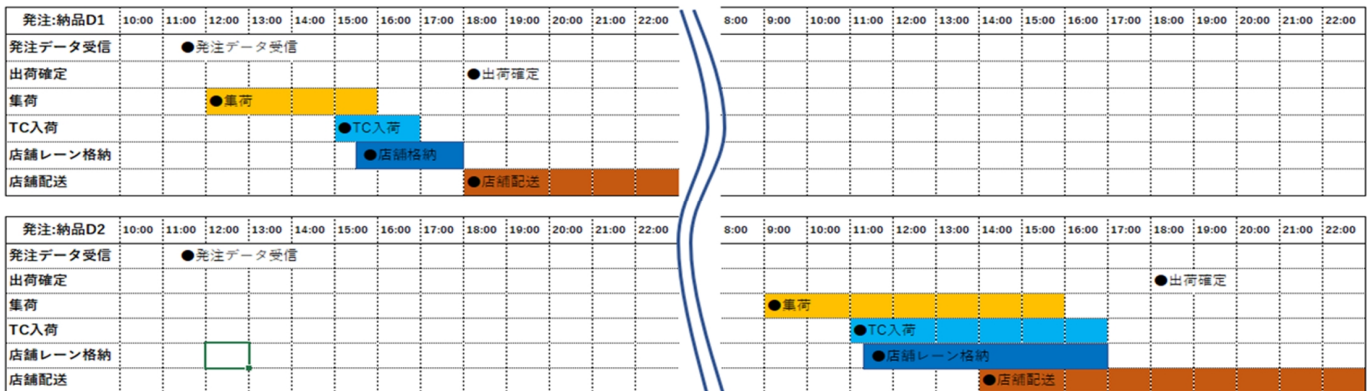


・取引先預り在庫の鮮度に伴う出荷返品率0.50%が0.11%に減少

ホワイト物流による食品ロス削減

グロッサリー納品リードタイム延長

発注: 納品D1 D2



店舗レーン格納までの時間：4時間 24時間以上(20時間以上の延長)

- ・物流 車輛の緊急手配が大幅減少(コスト=スポット金額・手配手間)
- ・取引先 発注データより不足分を手配する事で無駄な在庫確保が不要(在庫・欠品)
- ・店舗 物量が多い店舗の納品時間が早出しで来る事でオペレーションが平準化

パローHD上口様研修会講演資料を事務局が抜粋、修正

ホワイト物流による食品ロス削減

	導入前 (説明時)	導入後
営業部・店舗	反対！何も良い事ない。	不利益だけ→DXによるインフラ 時間経過でD+2が当たり前に・・・(今では受け入れ)
商品部	理解できるが・・・ (営業部を納得させるだけのメリットがない)	新店・RNの追加発注対応が厳しい。 (陳列後の追加発注)
取引先	大賛成。 店舗側が納得してくれるかが心配。	デメリットはなし。 特にTCはメリットしかない。
中部興産	大賛成。 これができるれば事前段取りや前日作業ができる。	メリットしかない。(集荷・仕分けのタイミング) 物量が多くても前日に段取組み・前倒し作業もでき

- ・2019年11月中旬スタート
四半期単位の店舗在庫効率

同期前年	導入期	同期翌年
95.2%	100%	106.5%

預在庫効率	10月	11月	12月	1月	2月
在庫数昨対推移	108.1%	105.4%	127.2%	106.3%	116.5%
2019年在庫日数	8.8	8.6	10.9	10.6	10.5
2020年在庫日数	6.9	7.9	8.6	8.5	7.1
改善在庫日数	1.9	0.7	2.3	2.1	3.4

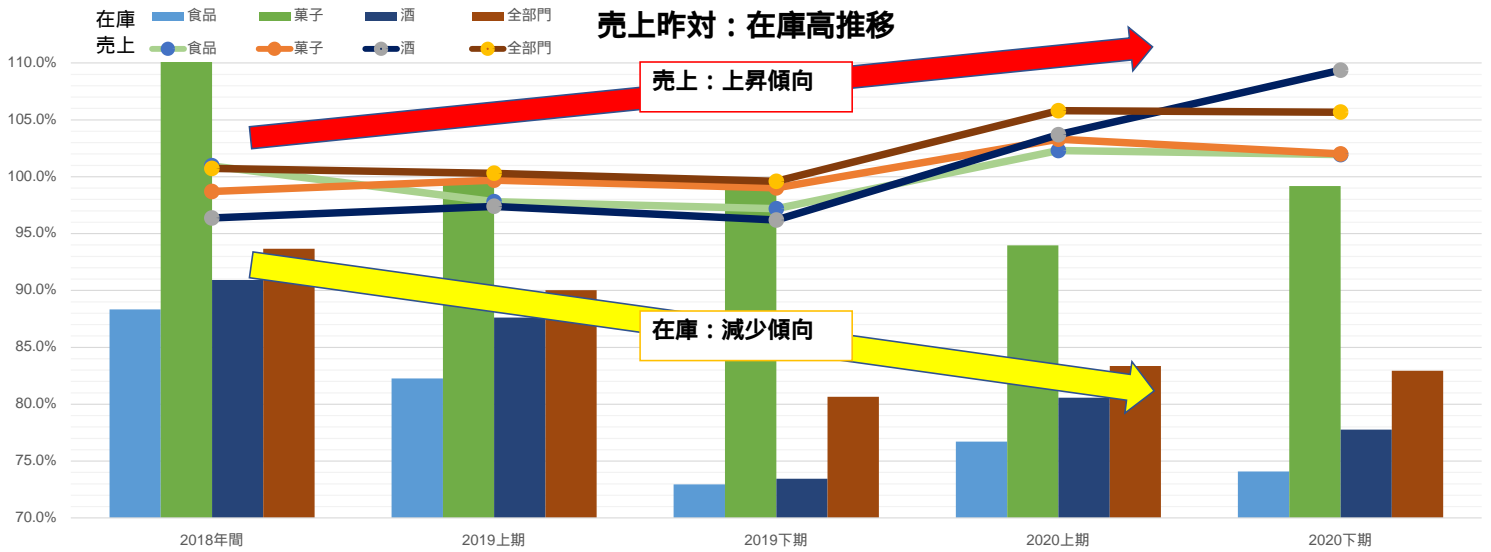
着荷主による仮説の心配事

- ・納品までの時間延長で在庫が増えるのでは...>本当か？やり方があるのでは...

リードタイム延長による不安は自動発注等のDXで解消できる 8

ホワイト物流による食品ロス削減

リードタイム延長（納品期限緩和含む）による影響



リードタイムの延長は売上高、在庫高に直接的な影響は及ばない。
 延長により商品供給の質が向上 = 着荷主にもメリットがある
着荷主最適 サプライチェーン全体最適